

プログラム名 (40字以内)	台湾大学実験林での体験活動～亜熱帯の森林と林業を学ぶ～		
団体名/所属	農学生命科学研究科附属演習林大学教育委員会		
活動区分	農林水産業などに関わる地域体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	8人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	森林や林業に興味があり、英語による解説が理解でき、現地学生と交流できる程度の英語力を有すること		
活動期間	2025/9/11(木)～9/16(火)	主な活動予定場所	台湾大学キャンパス(台北市)および 台湾大学実験林(南投県)
プログラム実施の目的	亜熱帯林の構造・動態・森林の取り扱い方の、温帯林・亜寒帯林との違いを学習する。現地研究者や学生との交流を図る。		
具体的な内容(800字程度)	立台湾大学生物資源学部附属実験林(以下、台湾大実験林)は、台湾の中部に位置し面積34,000ha、標高差3,700メートルにおよぶ多様な自然を有している。 台湾大実験林は、戦前は東京大学演習林の一つであったこともあり、1990年代から教職員・学生を含めたシンポジウムの開催を行うなどの密接な交流を続けてきた。 東京大学は北海道から愛知県まで7箇所の演習林を有しているが、亜熱帯の森林を有していない。 台湾大実験林での体験活動プログラムを通じて、東京大学の演習林では体験することのできない亜熱帯林の構造・動態・森林の取り扱い方の、温帯林・亜寒帯林との違いを学習する。 また、台湾大の森林と資源系(東京大学の森林科学専攻・生物材料科学専攻に相当)は、伝統的に林産系が強く、演習林にも製材所や木工所を有している。 そのため東京大学の演習林では学生が学習する機会の少ない分野を本プログラムでは学習することが可能となる。 初日の午前中に台北到着後、南投県に位置する実験林に移動し、亜熱帯林や森林施業の現場を見学する(3泊)。その後、台北市の台湾大キャンパスに移動し、School of Forestry Resource Conservationの研究室見学等を行う(2泊)。		
【総額】参加するための費用	台湾内での宿泊・食費・交通費(8,000～12,000TWD:参加人数や一部屋あたりの人数によって変動) +9/14夜～9/16朝の食費(5食分)+日本～台湾の航空券代		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	台湾内での宿泊・食費・交通費(8,000～12,000TWD:参加人数や一部屋あたりの人数によって変動) +9/14夜～9/16朝の食費(5食分)		
【内訳】参加するための費用(交通費)	上記宿泊費に含まれる。		
【内訳】参加するための費用(その他)	台湾内での宿泊・食費・交通費として8,000～12,000TWD程度の見込み。9/14夜～9/16朝の食費(5食分)が別途必要。参加人数や一部屋あたりの人数によって変動する。航空券代は別途。		
奨励金額(予定)	40,000円		
備考	特になし		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト			
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	台湾大実験林: https://www.exfo.ntu.edu.tw/jp.php?id=2 東京大学演習林: https://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加しない		